

今週

1. 今日ミサ後 教会会計監査があります。信徒館にて手芸品の販売を行います。ご協力よろしくお願ひいたします。

各委員会・係からのお知らせ

1. 教会評議会より・

- ①植田勝行神父様が、本日23日午後2時からと27日(木)午前10時から、当教会においてミサを捧げてくださいます。どうぞご参加ください。
- ②昨年まで中止されていた神戸地区合同追悼祭が、今年は11月6日(日)午後2時から鶴越墓園とべら墓地において開催されます。(舞子墓園の合同追悼祭は共同納骨所改修工事のため中止されます。)
- ③寒くなってまいりましたが、今後もコロナ感染症対策のため、ミサ中上部窓開放、下部窓より排気など換気を十分に行います。気候に合わせて各自自主的に対策をし、体調管理に十分ご留意ください。

2. 社会活動委員会より・

- ①13日(木)は、鈴蘭台の炊き出し担当日でした。配給数78名に対し、18名の皆さんにご支援をいただきました。また、募金並びにお米の寄贈にも厚く感謝いたします。これからも祈りとともにご協力をよろしくお願ひ申し上げます。
- ②7月から9月までの「5円ランチ」募金・3ヶ月分を11,700円は「ハウスオブジョイ基金」へ、11,699円は「ウクライナ危機人道支援」へ送金いたしました。この募金は、教会内外の皆さま方の温かな善意にささえられております。これからも祈りとともにご支援をよろしくお願ひします。
- ③「ウクライナ危機人道支援」緊急募金について
10月2日分10,210円、9日分19,000円、5円ランチ11,699円の合計40,909円をカリタスジャパンに送金いたしました。ご協力ありがとうございました。月の第一・第二日曜日に募金箱を設置します、これからも継続して皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

3. 広報委員会より・

この度、「すずらん」鈴蘭台教会創立40周年記念号を、ようやく発行するに至りました。大司教様や神父様をはじめ信徒の方々から40年の歴史の中での想いやできごとをたくさんお寄せいただき、感謝の念に堪えません。ありがとうございました。本日より配布いたします。一所帯に一部お受け取りください。

4. 日曜学校より・

11月13日(日)に七五三のお祝いをしていただきます。希望される方は、申込書を聖堂後方に置いてありますので、11月6日ミサ終了後までに日曜学校リーダーへお渡しください。

5. 婦人会より・

10月7日(金)例会を持ちました。参加者6名。40周年記念ミサの婦人会関連の反省会、今後多くの会員が活動に参加出来る婦人会の在り方、典礼及び冠婚葬祭のマニュアルの必要性等を話し合いました。次回例会は11月18日(金)です。

6. マリア会より・

11月27日ケーキの予約販売を行うことになりました。11月6日までの期間に予約を受けたまわります。予約時に代金を添えてマリア会の係まで申し込みください。申込用紙は泣き部屋前のテーブル上に用意しています。申し込みお待ちしております。今年も皆様のご協力よろしくお願ひします。

7. 女子パウロ会より・

2023年のカレンダー・手帳・クリスマスグッズ等の注文を受け付けます。女子パウロ会からの案内及び申込書を信徒館に置いておりますので、ご希望の項目にご記入の上、係にお渡し頂くか、または申込箱にお入れください。締め切りは来週10月30日（日）とさせていただきます。なお、お引き渡しは入荷次第ご連絡致します。代金引換となりますのでよろしく願いいたします。

8. バザー委員より・

10月30日から11月20日まで パームクーヘンを信徒館にて販売いたします。ぜひ多くの方にご購入いただきクリスマス献金へのご協力をお願いいたします。

9. その他・

① ミサ参加にあたってのお願い

- (a) 体調不良の場合は、ミサへの参加を自粛してください。
- (b) ミサ参加時は、マスクを着用してください。
- (c) 入館時にはアルコールでの手指消毒をお願いします。

② 10月主日ミサ参加班分け・司式司祭

主 日 等	参加班	司 式 司 祭
10月30日（日）	B班	安旻祐神父

A&C班 = 鈴蘭台地区&西神、三木、小野地区

B班 = 北鈴蘭台地区より北神地区

教区の皆様

大阪大司教 前田万葉

世界宣教の日の献金について（お願い）

†主の平和

教皇フランシスコは2022年「世界宣教の日」メッセージとして、「あなたがたはわたしの証人となる」（使徒言行録1・8）を挙げておられます。地上での使命を果たされたイエスキリストは、残っている使徒たちに、「ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで」（同1・8）ご自分の証人としてみ言葉を述べ伝えなさいと任務を与えてくださいますが、これは決して人間に力によるものではなく、「聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける」とはっきり、神様による業であることを強調されます。聖霊は私たちを勇気づけ宣教の旅に奮い立たせてくださり、色々な困難を乗り越える力も与えて頂けるのです。必要なものは、はいと答える勇気でしょう。神様の霊、何処から来て、何処に吹いていくか知るすべもない聖霊は私たちを新しい世界にまで連れていかれることでしょう。（ヨハネ3・8参照）。自分という狭い世界ではなく、広がっている社会と他の国々に向かって心を開いていき、イエス様の証人となっていくこと。これ以上の素晴らしい生き方をわたしは知りません。神様の中で、そして、人々の心の中で永遠に生きることこそ、自分を惜しまず分け与えたものが受ける賞でしょう。それだけが私たちの誉れでしょう。

今年の10月23日（主日）は世界宣教の日です。集めて頂いた献金は教皇庁援助事業の責任のもと、世界中の宣教地に援助金として送られます。昨年、大阪教区で集まった献金は1,814,767円でした。ありがとうございました。

祈りと感謝のうちに